

第6学年 道徳学習指導案

指導者 福岡市立〇〇小学校 〇〇〇〇

1 主題名：礼儀は心のあらわれ

＜高2－（1）礼儀＞

2. 主として他の人とのかかわりに関すること。

（1）気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。

2 資料名：「江戸しぐさ」＜東京書籍6＞（一部抜粋）

3 主題設定の理由

本主題では、すべての人が気持ちよく暮らすためには、礼儀が大切であることに気付かせ、実生活でも常に相手の立場に立った心配りをしようとする実践力を育成することをねらいとする。この期の児童は、今まで身に付けてきた礼儀作法を、押し付けられたものや義務的なものとして批判的に受けてとめる傾向が見られる。礼儀作法は、自他の人格を互いに尊重し、みんなが気持ちよく生活し合うために存在するのであり、決して形式的なことではない。そこで、礼儀正しくすることの意味を考え直し、自分自身の人格を表すものとしても、礼儀正しくすることのよさをおさえていきたい。社会で生きていくには、いろいろな人とともに関わり合っていかなければならない。礼儀を大切にすることとは、周りのすべての人が心地よく暮らしていくことであり、自分も心地よく生きていくことであることに気付かせたい。

本資料は、人口の多い江戸ならではの人々の習慣であった「江戸しぐさ」を取り上げたものである。道で傘をさしてすれ違う時、相手にしずくがかからないように傘をお互いに外側に傾ける「かさかしげ」や、乗り合い舟の席であとから人が乗ってきた時にこぶしをついて腰をうかせ席をつめる「こぶし腰浮かせ」などのしぐさが紹介されている。資料を通して、子どもたちは、江戸しぐさにみられる人々の心配りに気付き、「礼儀とは、本来どのようなものであるのか」を考え始めるであろう。また、自分自身のこれまでの行動を振り返り、「自分にもこんな経験があるな」と気付いたり、「これからこんな行動をしたいな」と実践への意欲を高めるであろう。よって、本資料はねらいを達成する上で効果的である。

本学級の子どもたちは、礼儀を意識して行動している子どもが多い。しかし、それは教師や周りの大人の提案を受け入れるだけで、「これをやると、周りの人が気持ちよく生活できる」などの人の気持ちを考えて行動していることは少ないように感じる。みんなが気持ちよく生活できるための行動を考える意識を養いたい。また、そのような行動をすると、自分自身も気持ちがよいということに気付かせたい。

そこで、本主題の指導にあたっては、実生活での実践へと結びつけるために、以下の二点の活動を取り入れる。一つは、「礼儀とは心配りであること」を実感させる手立てで、江戸しぐさを実際にしてみるという役割演技。もう一つは、実践意欲を高めるために、今までにやってきた、またはこれからやれそうな身の回りでできる心配りを探す活動である。

導入段階では、電車の迷惑な乗り方アンケートの結果を提示し、めあてをつかませる。展開前段では、江戸しぐさに表れる心配りに気付かせ、さらにその心配りを実感できるように江戸しぐさの動作化をさせていく。展開後段では、自分たちの生活に振り返らせるために、資料を読み、現代の社会と照らし合わせて考えさせ、身の回りで人々の配慮している行為に気付かせる。「私がしていたこの行為はよかったんだ！」「6年〇組にも素敵なしぐさがあったんだ！」と振り返り、礼儀正しい日本人である誇りをもたせるようにする。礼儀とは、された方もした方も気持ちがよいものだということに気付かせていく。終末では、教師の説話で学習を締めくくり、感想を書かせて授業の評価とする。

4 ねらい

- 礼儀とは、周りの人々の立場にたって、心配りをする行いであることを理解し、周りの人々の立場に立って、心配りをしようとする意欲と態度を育てる。

5 本時

平成20年10月20日（月）第5校時 第6学年〇組教室に於いて

6 準備

教師：道徳ノート，資料，挿絵，傘

7 展開

段階	主な学習活動	教師の支援活動
導入	1 電車の乗り方アンケートを見て自分の経験を話し合う。	・自分の経験を想起しやすいようにアンケート結果を予想させる。
めあて：礼儀について考えよう。		
展開 前段	2 「江戸しぐさ」について聞き，そのよさを話し合う。 (1) 資料を読む。 (2) 「肩ひき」「こぶし腰浮かせ」を動作化する。 (3) 「傘かしげ」をする前の気持ちを考える。 (4) 「傘かしげ」をした後の気持ちを考える。	・イメージしやすいように挿絵を提示する。 ・細かなしぐさに表れる心配りを実感させるために実際に動作化する。 ・当時の江戸の社会背景を補足し，周りの人々への配慮から生まれたことに気付かせる。
展開 後段	3 今までの自分を振り返る。	・現代の日本にも江戸しぐさに負けないような礼儀のよい行動があることに気付かせる。 ・礼儀のよい行動をすることによって，気持ちよく生活ができることに気付かせる。
終末	4 教師の説話を聞き，感想を書く。	